

# 東京にオリンピックを呼んだ男 和田勇を大河ドラマへ

御坊市は和田勇氏ゆかりの地です



御坊駅に設置する横断幕のデザイン

## 「和田勇コーナー」リニューアル

### 寺内町会館 御坊駅には横断幕

顕彰事業

御坊市は、名誉市民第1号で東京にオリンピック(1964年)を呼んだ男として有名な和田勇顕彰事業で、新たに御坊寺内町会館(中町2丁目商店街)の和田勇コーナーをリニューアルするとともに、JR御坊駅に横断幕を設置し、2019年のNHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリンピック騒々〜」に登場させてもらえるように地元の気運を盛り上げていく。

寺内町会館には和田勇資料館を常設し、和田夫妻の写真やロサンゼルスオリンピック(1984年)のユニフォーム、叙勲、吉川英治文化賞など遺品を展示しているが、部屋が奥まったところにあるため、女関に近ところを間仕切りして新たに和田勇コーナーを整備。年表や功績をまとめたパネル5〜6枚も設置してPRに努める。15日午前10時からお披露目のセレモニーを行う。

このほか、15日午後1時30分から市民文化会館小ホールで「御坊ゆかりの国際人・和田勇シンポジウム〜東京にオリンピックを呼んだ男〜」を開く。「博多の歴史」の白駒妃登美さん(福岡市在住)が「祖国を思う心〜和田勇さんのオリンピック秘話」をテーマに講演する。講演後、御坊ロータリークラブが今年行った第12回和田勇物語読書感想文最優秀賞を受賞した力津彩愛さん(志賀小6年)と森山葉奈さん(御坊中3年)が感想文を発表する。

PRグッズは、和田氏の歩みや功績を写真入りで紹介するパンフレット1万5000部やクリアファイル3000部、ピンバッジ1000個を作成。パンフレットは市内すべての中学生やシンポジウム、プロモーション時に配布し、寺内町会館にも置く。クリアファイルは市内すべての小学生やシンポジウム、プロモーション時に配布し、ピンバッジは関係者に付けてもらうほか、シンポジウム参加者に配る。

JR御坊駅1番ホームには「東京にオリンピックを呼んだ男 和田勇を大河ドラマへ 御坊市は和田勇氏ゆかりの地です」と書いた横断幕(縦81センチ、横4メートル)が感想文を発表する。